
小平どろんこ保育園

令和7（2025）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

株式会社 学研Advance



| | |
|---|--|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)「にんげん力」を身に付けるために必要な遊び・野外体験を提案実践し“自分で考え、行動する思考”を育みます。 2)10よりも100の経験を与え、子どもが“したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。 3)“感じたこと・考えたこと”を言葉でジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。 4)「0を1にかえる力」を日本中の子どもたちにつけ、物事を投げ出さずに向き合う若者が社会を支える世の中を創ります。</p> |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で求める人物像 現状に満足せず自己の成長を常に意識している人 やって見せてあげて背中であげて教える人 より良い保育を目指して創意工夫していける人 ・社会人としての質向上 忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔で心がける。お願いします、ありがとうございます、など仕事中の言葉遣いに注意し、正しい日本語を身に付ける。子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動したり、提案する。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての質向上 子どもの命を預かる重みを自覚し、守らなければいけないことを遵守し、常に平常心で子どもと接する。後輩には自分の知識を教え、育てる気持ちを持ち、一人ひとりがリーダーになるという気持ちで責任を持って保育を行う。 |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|---|
| 1 | タイトル | 園の基盤を創ることを重要課題に掲げ、チームとして一体となり保育の質を高める組織風土を目指しています |
| | 内容 | 施設長は2025年度に新設した園の課題として、どろんこ会グループの理念に基づき、保育活動の原点について職員の共通理解を図り、園の基盤を創ることを重要課題としています。そのためにコミュニケーションの基本となる報・連・相を大切に、情報の流れがスムーズで指示系統がしっかりと機能していることで、協力し合う姿勢や遠慮せずに相談できる関係性が構築されています。職員の課題を把握し適切なアドバイスを行い、主体的な保育活動を常にサポートすることで、チームとして一体となって保育の質を高める組織風土を目指しています。 |
| 2 | タイトル | 年齢に合わせた食育活動を実施して、子どもが実経験からたくさんの学びができる環境を整えています |
| | 内容 | 年間食育計画の立案は、年齢に合わせた内容を落とし込み、様々な体験を提供しています。今年度は園庭にある畑にて、大根、カブ、ほうれん草、サツマイモ、カボチャなどを栽培して、水やり、草むしり、コンポストでの肥料作りなど「畑仕事」に子どもたちが関わりました。収穫した野菜は下処理をして、給食で食したり、ハロウインの飾りにしたりして楽しみました。クッキングではうどんや梅ジュース作り、カボチャ餅やトマトケチャップ、野菜ジャムなど身近な野菜を調理することで、親しみがわき、食べたいという意欲に繋がるような工夫をしています。 |
| 3 | タイトル | 地域のニーズを把握して園開放などの地域支援や一時保育事業を実施して、子育て家庭の支援を行っています |
| | 内容 | 園がある地域は子育て家庭が多いことから、園開放や製作をする芸術学校、クッキングなどを行う自然学校などを実施して、地域の子育て家庭を支援しています。一時保育事業も多くの登録者があり、毎日定員6名がほぼ埋まる状況が続いており、地域に必要とされるサービスを継続していくことで、子育て支援の促進に努めています。保育室開放は毎日気軽に遊びに来られる場所として、親子で遊ぶだけではなく、子育てのための勉強会や集まりなどにも活用できることで、園を中心に地域の子育ての輪が広がるような場所となることを目指しています。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | キャリアパスの取り組みとして、目指すキャリアを形成していくため個人別育成計画の策定を期待します |
| | 内容 | どろんこ会グループ独自の人事評価制度を導入し、等級ごとに職務や職責、昇級や昇格の基準を明確に定めています。また、職員の個人目標や取り組みを設定し、その達成状況などから評価、処遇、昇級などを行っています。しかし、キャリアパスの取り組みの中で個人別育成計画について職員の認識が不足していると感じられます。将来目指す姿を共有し、一人ひとりの成長を定期的に確認した上で、個人別計画の策定を期待します。職員の成長を積極的に支援し、目指すキャリアを形成していくための計画として認識されていくでしょう。 |
| 2 | タイトル | 事業継続計画について理解を深め、復旧期の活動内容と参集候補者を具体的に決めておくことで良いでしょう |
| | 内容 | 事業継続計画は、「保育品質マニュアル」や「クライシスマニュアル」に対応方針や活動について明記し、その骨子は本部が対策本部となり、社用スマートフォンを使用し園と連絡を取り情報を集約し、状況に応じた活動に取り組む計画となっています。今回の職員自己評価結果では事業継続計画について理解がやや不足していると感じられますので、理解を深めるために研修や周知を繰り返し行うと良いでしょう。また、通信インフラが機能しない事も想定されますので、復旧期の活動内容と参集候補者を具体的に決めておくことで理解が深まるでしょう。 |
| 3 | タイトル | 保護者とは登降園時に職員からコミュニケーションを取り、信頼関係の構築に繋がるよう園全体で取り組むとよいでしょう |
| | 内容 | 子どもの様子について相互理解に繋がるよう、保護者とは登降園時に職員からコミュニケーションを取っています。どろんこ会グループでは3分を目安に、降園時にその日の子どもの様子を報告する、「3分間お迎え対応」を取り入れています。送迎が重なってしまうと十分な対応が難しいこと、担任以外の職員からの報告はエピソード記録を添えづらく、いつも単調になってしまうことなどが課題となっています。次年度は園児が更に増えることから、登降園時の対応はもちろんのこと、保護者とのコミュニケーションを更に丁寧に行えるといいでしょう。 |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|---|--------------------------------------|
| 評価項目 | 5-2-1 | 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる |
| タイトル① | 研修での学びを基に業務改善について話し合い、協力して積極的に展開しています | |
| 内容① | 業務改善について職員の意識は高く、積極的に取り組んでいます。日々の活動についての改善策の検討は各会議で随時行われ、改善策を提案し実践していきます。取り組み後には必ずどうなったのかを振り返り、検証していきます。例えば昼食の配膳方法については、本部の動画研修後にどのように取り組むのか話し合い、食具の置き方を提案し実践しています。園内研修で学んだ事を基にポートフォリオを作成するなど、研修で得た知識を全員で共有し実践するなど、協力して保育活動の改善に積極的に取り組み、働きがいのある職場となっています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|---|----------------------------|
| 評価項目 | 6-4-1 | 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている |
| タイトル② | 子ども一人ひとりの発達状況を職員間で共有し、個々を尊重した保育を行っています | |
| 内容② | 子ども一人ひとりの発達は保育日誌、毎月の個別計画、個別省察、個別記録に残して、クラス担任のみではなく全職員で共有しています。年度初めは異年齢活動は行わず、各クラスごとの活動を主にすることで、まずは園の環境に慣れて、身近な保育者との信頼関係の構築を図っています。今年度は子どもたちの様子を見ながら、少しずつ異年齢活動を取り入れたり、活動内容によっては、1歳児クラスの月齢の高い子どもが2歳児クラスに合流しています。職員間で連携を取り、個々の発達を尊重した関わりを基本とした、丁寧な保育を行っています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|--|-----------------------|
| 評価項目 | 3-2-2 | 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている |
| タイトル③ | 人権擁護に関する取り組みには様々な研修を実施するなど虐待防止対策を実践しています | |
| 内容③ | どろんこ会グループが運営する研修プログラムや人権擁護に関する取り組みは充実しています。園内では3月のキックオフミーティングでの研修や、虐待防止研修を年間を通して実施し、虐待対応マニュアルに基づき職員の不適切な言動について認識を深めています。4、10月には「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」を確認し、子どもの尊厳を守る保育活動に注力し、組織的に防止対策を実施しています。不適切な言動を感じた時には施設長へ報告し、虐待を疑われる情報を得た時には、運営本部や行政機関と連携し、迅速に対応していきます。 | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

| | | |
|-----|--|--|
| No. | 共通評価項目 | |
| | カテゴリー1 | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | |
| | サブカテゴリー1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当 |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | ●あり ○なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当 |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | ●あり ○なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える ○非該当 |
| | カテゴリー1の講評 | |
| | 理念や方針について、職員や保護者の理解を深める取り組みを行っています どんこ会グループの理念や運営ビジョンについては、毎年11月に実施する本部が行う全体研修において法人代表から伝えられ、運営本部が策定した運営ミッションや施設長会議などでも明確に示し、職員の理解を深めています。園では次年度計画の策定会議や、3月のキックオフミーティングにおいて計画を共有し、保育品質マニュアルや本部独自のコンピテンシー冊子に沿って活動の質を高めています。新人職員はOJT研修で実務から学び、保護者は入園のしおりや園ホームページ、玄関に配置した資料、保護者懇談会などを通じて理解しています。 | |
| | 施設長は基盤となる組織風土を創っていくため、保育活動の原点を大切にしています 施設長は園運営における最終的な責任は自身にあると考え、コミュニケーションの基本となる報・連・相を大切に、職員の主体的な活動を期待し意識が高まるようサポートしています。特に今年度は新設園であることから園の基盤となる組織風土を創っていくため、保育活動の原点について共通理解を図っています。どんこ会グループの運営本部が策定した基本方針の実現に向かって園事業計画を策定し、職員の目標設定にも連動させていきます。会議や個別面談において進捗状況や課題を把握し、適切なアドバイスをしリーダーシップを発揮しています。 | |
| | 検討し決定すべき案件は、園会議でコンセンサスを得て決定し速やかに伝えています 検討すべき案件については、まず施設長と主任で状況を共有し、リーダー会議でその対応を話し合います。その後、内容に応じた会議で職員からの多様な意見を把握し、園会議でコンセンサスを得た上で最終的に施設長が決定する事を原則としています。その内容や経緯は直近のクラス会議や乳児会議、朝礼や社用スマートフォンでのチャットで伝え、会議議事録を全員が確認押印し伝達漏れを防止しています。保護者への周知は、随時連絡用アプリでの配信や紙面のおたよりで伝え、送迎時に改めて配信内容を口頭確認し、個別対応も随時行っています。 | |

| カテゴリ-2 | | |
|--|---|----------------------|
| 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | | |
| サブカテゴリ-1(2-1) | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | 評点(000000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(2-2) | | |
| 実践的な計画策定に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している | | 評点(000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | ○非該当 |
| カテゴリ-2の講評 | | |
| <p>保護者や職員からの情報や意見を幅広く把握し、円滑な園運営を目指しています</p> <p>利用者アンケートや第三者評価利用者調査、運動会などの3大行事後のアンケート及び6月と11月に開催する懇談会で保護者の意見を定期的に把握し、業務改善に結びつけています。日常的には送迎時の会話や連絡用アプリへの記入内容、二次元コードを使用した苦情解決の仕組みにより、意見や提案を捉えています。職員からの提案は、様々な会議での発言と共に、年3回の個人面談時の会話からも受け止め、9月に「キャリアデザインアンケート」を実施して将来に向けての意向を共有するなど、施設長は情報を集約し円滑な園運営を目指しています。</p> <p>3カ年計画と単年度事業計画を策定し、新園としての基盤創りに取り組んでいます</p> <p>新園としてどろんこ会グループの理念や基本方針を具現化するため、2025年度から3年間の3カ年計画と、単年度事業計画書を策定しています。策定にあたり、職員の異動などで人員体制に変化が生じても崩れない土台を創ることを念頭におき、前年の12月から策定を開始しました。3カ年計画は地域に貢献し選ばれる園を目指し、単年度事業計画書には基本方針を含む12の重点項目を明確にしています。2、3月の策定会議で配属が決まった職員が活発に話し合い計画を策定しました。計画の推進状況はクラス会議を毎週開催し丁寧に確認しています。</p> <p>園に求められている福祉ニーズを様々な機会から把握し、園運営に反映しています</p> <p>地域や福祉事業全体の動向については、行政が開催する園長会議や研修会、どろんこ会グループの施設長会議やWeb情報等から得ており、会議で面識ができた人々との情報交換からも把握しています。園舎内の地域子育て支援施設「ちきんえっぐ」の利用者や園見学者とのコミュニケーションを積極的にとり、園に求められている地域福祉ニーズとして、現状は一時保育のニーズが高いことを把握しています。経営状況は予実管理表で月次管理しており、運営本部担当者や状況分析の上課題等に対処し、年間の収支バランスの適正化などに注力しています。</p> | | |

| カテゴリ-3 | | |
|--|---|---------------------------|
| 3 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリ-1(3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的確認している。 | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ-2(3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ-3(3-3) | | |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリー3の講評

研修プログラムやマニュアルを充実し、守るべき法・規範・倫理の理解を深めています

全職員に保育品質マニュアル、コンピテンシー冊子を配付し、就業規則や特定個人情報取扱規程などは常にパソコンで確認できるようデジタル化し、守るべき法、規範、倫理を周知しています。どろんこ会グループが運営する研修プログラムや人権擁護に関する取り組みは充実し、毎月の「コンピテンシー研修」、4、10月に「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」、5、11月に「情報セキュリティチェック」、「コンプライアンスチェック」を園内で行い、子どもの尊厳を守る保育活動に注力し、内部監査室による内部監査を実施しています。

保護者からの苦情や提案などに組織的に対応し、迅速に解決を目指しています

「入園のしおり」に苦情解決体制として、解決責任者、受付担当者、第三者委員を設置し組織的に対応することを明記し、玄関に「ご意見ご提案フォーム」として二次元コードを使用した苦情申し出の方法を示す資料を設置し、保護者に周知しています。苦情や意見などは口頭、電話、メール等で受け付け、主任へ申し出る事を基本に第三者委員にも相談できる事を伝えています。申し出があった場合は、施設長に速やかに報告し、運営本部担当者と共有していきます。会議や社用スマートフォンのチャットで職員に共有し、解決策を見出し対応していきます。

人権擁護のための研修を繰り返し実施し、子どもの尊厳を守る保育を実践しています

虐待対応マニュアルに基づき職員の不適切な言動について認識を深め、3月のキックオフミーティングでの研修や虐待防止研修を年間を通して実施しています。不適切な言動を感じた時には施設長へ報告し、状況によっては内部通報システムを使用することもあります。虐待と疑われる情報を得た時には、運営本部や関係機関と連携し迅速に対応していきます。地域福祉ニーズに応える活動は、新園ですが一時保育、子育て相談、地域支援室での活動、公園での青空保育、ボランティア受け入れなど、専門性を活かして積極的に展開し、地域に貢献しています。

| カテゴリ4 | | |
|---|--|----------------------|
| 4 | リスクマネジメント | |
| サブカテゴリ1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(00000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | ○非該当 |
| サブカテゴリ2(4-2) | | |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | ○非該当 |
| カテゴリ4の講評 | | |
| <p>リスクマネジメント研修や事故防止委員会を設置するなど、リスク防止に努めています</p> <p>危機管理のために法人のマニュアルなどを毎年5月までに全職員が再読するルールとなっており、リスクへの対応を確認しています。事故や災害に関わらず子どもの生命を最優先に避難訓練、不審者侵入対応訓練、水の事故など様々な訓練を毎月実施しています。戸外活動時の見失いや置き去り事故防止のために、複数体制で都度人数チェックを行い、日々のけがに関してはリスクマネジメント研修で危険察知能力を高め、子どもの行動を予測しながら保育を実践しています。重大事故情報は事故防止委員会において共有し再発防止に努めています。</p> <p>大災害時の復旧活動について、対応や活動をより明確にしておくとうまいでしょう</p> <p>大災害発生時の対応は「保育品質マニュアル」や「クライシスマニュアル」などで、事業継続計画の対応方針や活動をフローチャートにしています。保護者には重要事項説明書を用い、災害時の対応についてや安全計画を保護者懇談会で周知しています。災害時には本部が対策本部となり、社用スマートフォンを使用し園と情報共有を行い、状況に応じた活動に取り組む計画です。職員や保護者には連絡用アプリで連絡を取る予定ですが、通信機能が停止している状態を想定し、園の参集候補者や復旧期の初期活動内容を明確にしておくとうまいでしょう。</p> <p>情報管理については各種規定を定め、様々な情報のセキュリティ対策を実施しています</p> <p>情報管理については「秘密情報管理規程」や「特定個人情報取扱規定」などを遵守して対応しています。園業務管理システムやパソコンへのアクセスには職員個人のパスワード設定により閲覧権限を付与し、デジタル化した資料の保管は本部のクラウド型サーバーで行っています。外部記憶媒体の使用禁止、カメラ等の画像データは使用後に削除する等、セキュリティ対策を実施し機密保持を徹底しています。紙資料は鍵付きの棚に整理保管し、鍵は施設長が管理しています。年2回「情報セキュリティチェック」を実施し、全職員を啓蒙しています。</p> | | |

| 5 職員と組織の能力向上 | | |
|---|--|----------|
| サブカテゴリ-1(5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 10/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | ○非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | ○非該当 |
| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる | | 評点(〇〇●●) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | ○非該当 |
| ○あり ●なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | ○非該当 |
| ○あり ●なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | ○非該当 |
| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(5-2) | | |
| 組織力の向上に取り組んでいる | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 3/3 |
| 評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリー5の講評

どろんこ会グループの採用活動は、園の活動を周知し共感した人材を採用しています

どろんこ会グループが求める人材の採用活動は本部人事採用部が主体となり入社説明会を実施し、理念に共感した人材を採用しています。本部ホームページでは採用方針、求める人物像、職員へのインタビュー、研修制度、採用イベント情報などを常時周知し、希望者には園見学や個別面接を適宜実施していますが、必要に応じ求人サイトでの募集活動も行っています。異動や配属については職員との個別面談によって個人の思いや意向を確認し、運営本部担当者と共有の上、職員の成長と定着に結び付くように総合的に判断し、決定していきます。

キャリアパスを定着させるために、評価や研修と連動した個人別計画の作成を期待します

2023年度にどろんこ会グループ独自の人事評価制度を導入しました。等級ごとに職務や職責、昇級や昇格の基準を明確に定め、職員個人の目標や取り組みを事業計画書と整合性があるように設定し、その達成状況などを勘案し、評価、処遇、昇級などを行っています。キャリアパスの取り組みは、人事評価制度を基本に、キャリアデザインアンケートや昇格の機会を自己申告できるチャレンジ制度などと連動し行われていますが、個人別育成計画の認識が不足していると感じられます。将来目指す姿を共有し、具体的な個人別計画作成を期待します。

職員は協力してチーム保育を実践し、人間関係が良好な職場環境となっています

就業状況は勤務シフト表作成前に休暇の希望を可能な限り反映し、時間外労働は新園ならではの業務等がありますが法令に基づき実施し、さらに残業時間削減に取り組んでいます。公平な休憩時間を確保できるようローテーションを組み、適正なライフワークバランスを目指しています。業務改善については、本部の研修動画視聴後にどのような取り組みができるのか話し合い、昼食の配膳方法を工夫しました。研修の機会は多く、得た知識は全員で共有するなど、協力してチーム保育を実践しており、人間関係が良好で働きがいのある職場環境となっています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

2025年4月に開園し、初年度となる今年は1、2歳児で運営していますが、2年目には近隣の公立保育園から3～5歳児が移行され定員は108名になる計画となっています。そのような背景があるため、今年度の目標として園の基盤作りを進め、基本活動について職員の理解を統一し、原点となる3つの項目「基本活動を深く理解する」、「畑仕事、生き物の世話、堆肥作りを確実に行う」、「インクルーシブ生活を実践し健常児も障がい児も生きる力を獲得することの一つひとつ丁寧に行っていく」としました。取り組みは全職員が参加し、策定会議において役割分担を決め、係会議、毎週のクラス会議、月1回の乳児会議、月1回のさくらさくらんぼリズム体操の勉強会で、理解を図っていきました。取り組みの途中経過ですが、2025年度は日々の試行錯誤により理解が深まり、1、2歳児の発達に合わせた保育が実現できました。その結果、ゆっくりではありますが目標とした原点となる活動への理解が深まり、組織としての一体感が醸成されつつある状態となっています。今年度後半においても、各会議や個人面談で振り返りを行い、PDCAサイクル実践の確認をして、目標実現を目指しています。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

どろんこ会グループの原点にある「生活・遊び・労働を教えあう」を実現するため、園会議、乳児会議、クラス会議などで職員同士が活発に話し合えるように配慮し会議を重ね、職員間の連携や言動がスムーズになってきました。事業計画策定会議での話し合いを通じて、原点となる様々な保育活動を事業計画の中に位置付けていきました。職員は基本活動の理解と実践に務め、日々の保育活動では子どもと多くの時間を共に過ごし、子どもに寄り添い人格形成に丁寧に関わっています。保護者は子どもが家の中で雑巾がけをする様子を見たり、食育として取り組んだうどん作りが楽しかったことなどを聞き、基本活動によって多くの経験をして、着実に成長していることを実感しています。一方で、保育活動面での課題として、9時から戸外活動に取り組むスケジュールが遅れてしまうことがありました。今年度後半からの具体的な対策として、1歳児の準備に取り掛かる時間を少し早く始めることや、一時保育の子どもが所属するクラス分けを発達状況に応じて判断するなどの対処をしています。今年度の実践を基盤に、来年度に幼児クラスを新設した状態を想定しながら、目指す保育を実現できるように取り組んでいます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

今年度の2つ目の目標として、地域に開かれた子育ての拠点となるために、地域子育て支援室「ちきんえっぐ」の活動実践を目標としました。目標とした理由は、開園1年目であるため地域での知名度はまだ低く、子育て支援ニーズ合った活動を通じて認識され、地域の一員として信頼度を高め、選ばれる園となる必要があると考えたためです。具体的な取り組みは月曜日から土曜日までの間、園庭解放、子育て相談、青空保育、自然食堂などいずれかの活動を毎日実施するよう、年間を通じた計画を作成し実施していききました。園のホームページには「ちきんえっぐ」の予定表を公開し、ポスター掲示、青空保育や園見学の時にはちきんえっぐのチラシを手渡し、広報活動を行い、職員はイベントなどで役割を担っていききました。取り組みの途中経過ですが、参加者数は開園当初は非常に少ない状態でしたが、徐々に増加し9月には月間目標数に近づいています。月末には月間参加者数を集計した上で、ちきんえっぐ担当の職員が中心となり振り返りを行っています。その結果、園の知名度は高くなり、参加者から好評な状況となっています。今年度後半においても継続して取り組み、更に充実した活動を目指しています。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

4月の時点では地域子育て支援室「ちきんえっぐ」の行事への参加者が非常に少ない状態でしたが徐々に参加者は増加し、9月には月間30名になりました。月間目標は40名ですので目標達成までもう一步の段階となりました。職員からは、地域子育て支援室が設置されるなど園施設が充実しており、「ちきんえっぐ」の活動に自然に取り組むことができたとの反応がありました。参加者からは、地域子育て支援のイベントや園見学に参加した時に交友関係が広がり、悩みの相談ができたとの声がありました。参加者からのちきんえっぐの活動に関する評判も高まっています。一方、苦労したことは、参加者がなかなか増えず知名度が上がらないこと、イベント参加者数が事前に把握できず職員の配置を決められないことなどがあり、青空保育は天候の影響を受けます。今年度後半の取り組みはさらに広報に力を入れることとし、具体的には園のホームページでの告知を工夫し、掲示するポスターを増やしています。今後は、把握した地域のニーズである離乳食から幼児食への移行、製作物の取り組み、体を動かすことなどを実施し、地域の一員として信頼度を高め、選ばれる園となることを目指しています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|---|---|---------------------------|
| サブカテゴリ1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ1の講評 | | |
| <p>入園のしおりやホームページで、どろんこ会グループにおける保育姿勢を伝えています</p> <p>入園のしおりやホームページでは「私たちの子育て」として、経験を大切に「人を頼り、尋ね、自分で考え行動してゆくように導く」といったどろんこ会グループにおける基本姿勢を伝えています。また、「運営理念」、「子育て目標」、「デイリープログラム」、「子育て内容(活動内容)」などで、保育内容を説明しています。ホームページには園だよりや年間スケジュール、献立表、食育・保健だよりなどを掲載しており、行事や日課での子どもたちの取り組みを写真とともに紹介するなど、当園の保育について分かりやすく伝える工夫をしています。</p> <p>市には一時保育事業の報告をするなど、連携を取って地域の子育て家庭を支援しています</p> <p>市のホームページの私立認可保育園一覧は、園のホームページと連携しており、園の住所、定員などの基本情報と共に、園の詳細を知ることができる仕組みが整っています。一時保育事業についても、市のホームページに情報を掲載して、保育を必要とする地域の人々が利用しやすいよう情報を発信しています。子育て支援活動については、園外に設置している掲示板にお知らせの資料を掲示し、一時保育利用者や園見学者には子育て支援活動「ちきんえっぐ」で行う、梅ジュースやトマトケチャップ作り、草木染などの活動を紹介して、参加を呼びかけています。</p> <p>園見学では実際の園の保育について、多くの人に見てもらう機会を確保しています</p> <p>見学希望者と日程調整を行い、なるべく多くの人々が希望の日に見学ができるよう対応しています。見学者には園のしおりに沿って、どろんこ会グループの特長的な保育である裸足保育、座禅、畑仕事などの日課について説明しながら、実際の保育の様子や室内環境を見てもらっています。今年度は1歳児と2歳児クラスのみですが、次年度以降は公立保育園の民営化に伴い、その園児を受け入れた1歳児から5歳児までのクラス編成になることを伝えています。見学者の質問にも丁寧に対応して、入園に向けた不安の軽減に努めています。</p> | | |

| サブカテゴリー2 | | |
|---|--|-----------------------|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 |
| サブカテゴリー2の講評 | | |
| <p>入園前面談では、入園のしおりに沿って新生活のルールを説明しています</p> <p>入園前面談を実施し、入園のしおりに沿って園の保育方針、目標、目指している保育内容などの理解を深め、利用料金、延長保育、医師の診断書が必要な疾病など、集団生活上の基本的なルールを説明しています。面談の最後には、重要事項説明書の記載内容について、説明漏れがないかチェックリストで最終確認をしています。保護者には、あらかじめ「入園前面談票」に子どもの既往歴、発育、食事、アレルギーの有無など、入園までの成育歴の記入を依頼し、面談で新たに得た情報があれば「入園前面談票」に追記して、入園後の保育に反映させています。</p> <p>保護者の就労状況を把握して、個々に合わせた慣れ保育の期間を設定しています</p> <p>入園前面談では、保護者の意向や配慮してほしい点、慣れ保育の希望期間について把握をしています。慣れ保育は必須ではありませんが、子どもが新しい環境や、周囲の大人に少しずつ馴染めるよう配慮しています。最初の数日は1時間程度の滞在から始めて、食事まで、午睡まで、おやつまでと、徐々に時間を伸ばし通常保育にしていきます。個々の様子をみながら、保護者と相談して無理のない慣れ保育の期間を設定しています。入園直後は連絡帳アプリと口頭で子どもの様子を丁寧に伝えて、保護者の不安軽減を図ることで信頼を得られるよう努めています。</p> <p>次年度を見据えて、近隣の小学校と連携を図れるような働きかけを始めています</p> <p>来年度は公立保育園の民間委託が実施され、当園は近隣の公立保育園の子どもを受け入れた、1歳児から5歳児までのクラス編成になります。これにより卒園児が生じる見通しのため、小学校との連携を図りながら、次年度へ向けた取り組みを始動しています。現在は、運動会の会場として近隣の小学校の校庭もしくは体育館を借りる計画を立案し、小学校と打合せをして実現を目指しています。さらに小学校見学などの交流にも取り組み、少しずつ関係性を強め、スムーズな小学校入学を実現し、卒園児にとって良いスタートが切れるよう取り組んでいます。</p> | | |

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

13/13

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | ○非該当 |

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている | ○非該当 |

評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | ○非該当 |

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている | ○非該当 |

サブカテゴリー3の講評

子どもの成長過程は所定の様式に記録をして、職員間で情報を共有しています

園では個人記録として、毎月の月案に保育目標と計画を立案し、月末には省察を実施して一人ひとりの成長過程を把握しています。個別記録には毎月の子どもの姿や興味、関心のあること、保育者や友達との関わり等を記録して、職員間で成長過程を共有しています。次案を立てる際には、前月の子どもの姿を踏まえて内容を引き継ぐことで、連続した保育を提供しています。記録物にはエピソード記録を採用することで、子ども一人ひとりの姿をしっかりと把握して、発した言葉や表情などからの気づきを保育に生かしていけるよう努めています。

全体的な計画を基に年間保育計画など各計画を立案し、子どもの育ちを推進しています

全体的な計画はグループ全体で立案をしており、どろんこ会グループが目指す子どもの姿を目標に、日々の保育を提供しています。年間指導計画はクラス担任間で、子どもの育ちやその年のクラスカラーに合わせた内容を落とし込み、年齢に合わせた学びや保育環境を整えていけるよう立案しています。月案、週日案も同様に、クラス担当者が省察を踏まえて次案を立案しています。省察をしっかりと行うことで、連続性のある保育を提供すると共に、クラス担当者間で子どもの育ちを共有して、個々の発達や特性に合った支援を提供し成長を促しています。

クラス会議、乳児会議などで、子どもの情報を職員間で共有して保育を行っています

毎週のクラス会議では、クラスの姿や個々の子どもについての課題などを共有して、職員間で保育方針を統一していける場になっています。乳児会議では各クラスの様子や報告に加えて、異年齢の関わりの中で気が付いたこと、翌月への配慮点、一人ひとりの子どもの成長について共有をしています。気持ちの切り替えがうまくいかない子どもや、噛みつき、引っかきといった行為が見られる子どもについては、どのような場面で起こりえるのか、また効果的な対応方法について事例を挙げて検討していくことで、保育の質を高めていけるよう取り組んでいます。

| サブカテゴリ-5 | | |
|---|--|----------------------|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-5の講評 | | |
| <p>入園時にどろんこ会グループの個人情報保護の基本姿勢を説明し同意を得ています</p> <p>どろんこ会グループにおける個人情報の取り扱い、基本姿勢については入園時に説明を行って、保護者の意向を同意書にて確認しています。情報収集の目的、収集する情報の種類、情報管理、および第三者へ情報提供する際には厳重な管理下で行うこと、緊急時に警察署、児童相談所、行政各所、医療機関などに子どもや保護者の情報を開示すること、使用する際には必要最低限に留めることを基本姿勢として明示しています。写真、動画の園内掲示、ホームページなど外部への使用については、保護者が同意を得た上でを行い、信頼を得られるよう努めています。</p> <p>子どもの羞恥心や自尊心に配慮した保育環境を整えて、子どもの主体性を育てています</p> <p>トイレの失敗などで着替えが必要な時には、他の子どもから見えない場所に誘導しています。名前を呼ぶ時には必ず敬称を付け、呼び捨てやあだ名をで呼ぶことはしない、子どもが興味を示したものはできるだけ見守る、活動に取り組んでいる場合は安全を確保して、必要最低限の支援に留めることを基本姿勢としています。日課の中でも子どもが活動に集中できる環境を確保し、保育者主導ではなく子どもの主体性を尊重した保育を大切にしています。保育者が補助しすぎるのではなく、子ども同士の関係性からの育ち合いを伸ばせる環境を整えています。</p> <p>毎年2回、人権チェックリストにて子どもの人権について振り返り確認を行っています</p> <p>毎年2回、「保育品質マニュアル」の人権チェックリストと、どろんこ会グループによる日ごろの保育についてのアンケートを実施し、子どもの人権や保育環境、子どもとの関わりなどについて現状の振り返りを行い、どろんこ会グループ全体で保育の質を高めていく体制を整えています。また、園内研修として、園内では当たり前で子どもにとって良かれという行動が、必ずしも世の中の当たり前ではないこともある、という事例を学ぶ場を設けて、どのような行為が不適切保育とみなされてしまうのか、園全体で更に意識を高めていく機会を設けています。</p> | | |

| サブカテゴリ-6 | | |
|---|---|----------------------|
| 6 | 事業所業務の標準化 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-6の講評 | | |
| <p>「保育品質マニュアル」を会議などで読み合わせを行い、業務の標準化をしています</p> <p>どろんこ会グループ共通の「保育運営マニュアル」を各園に1部ずつ設置しており、業務に必要な箇所を年度始めや会議などで随時確認をし、マニュアルに沿った基本対応を共有しています。また、全職員に「保育品質マニュアル」を配付し、園運営、保育全般に関わる内容について、会議などで読み合わせを行い、共通理解と業務の標準化を図っています。マニュアルの改訂については毎年4月に取り組み、修正箇所を確認しながら読み合わせを行い、新しい手順などを理解しマニュアルに沿った保育活動を提供し、保育の質を高めるよう努めています。</p> <p>利用者アンケートの結果は開示し、改善に向けた対応を園全体で考察しています</p> <p>どろんこ会グループでは毎年保護者アンケートを実施して、保護者の意見を確認し園の強みや弱みなどを把握しています。アンケート結果は保護者に公開して、改善に向けた取り組みや姿勢を伝えることで、信頼を得られるよう努めています。また、改善策が必要なケースについては会議において、全職員で検討を行っています。今年度は新規開園のため、第三者評価の利用者調査のみ実施しました。保護者からの意見は職員会議で共有すると共に、理解が低かった項目は再度保護者に園の姿勢を説明することで、信頼を得られるよう目指しています。</p> <p>次年度取り組む行事や保育については、全職員のプレゼンテーションで決定しています</p> <p>次年度の保育の取り組みや行事内容については、年度末の策定会議で職員が意見を出し合って決めていきます。今年度の遊びや、子どもの姿を踏まえて、継続した経験や学びが得られるように考察をして、取り組みたい保育を提案していきます。全職員が企画案をプレゼンテーションし、様々な意見や思いを共有した上で、当園らしい取り組みの全体像を作っていきます。子どもたちの主体的な実体験からの学びを積み重ねる保育と、職員が取り組みたい保育を両立させながら、どろんこ会グループが目指す子どもの姿に近づけるよう取り組んでいます。</p> | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

| | | サブカテゴリ-4 | |
|--|--|------------------|-------|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 35/35 |
| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | | 評点(00000)・非該当1 | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | ○非該当 | |
| ○あり ○なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | ●非該当 | |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>子ども一人ひとりの発達を考慮して、保育室の環境整備や保育支援を行っています</p> <p>子ども一人ひとりの保育中の様子は、保育日誌と「個別記録」「個別計画」「個別省察」に記録して、子どもの「今」の姿と、成長過程を適切に把握しています。通常だと異年齢クラスの編成をしていますが、新規開設園のため入園が同時期になり、一人ひとりの発達や個性などを把握しやすいように、年度初めはクラス別の保育に変更をして、きめの細かい保育を提供しました。次年度以降も様子を見ながらクラスを2つに分けたり、異年齢活動を段階的に進めるなどの配慮をすることで、伸び伸びと過ごせる環境を整えられるよう目指しています。</p> <p>子どもが主体的に周囲の物へ関心が持てるよう、保育室内の環境を整えています</p> <p>子どもが周囲への関心を広げていけるよう、まずは身近な保育者との信頼関係を早期に築いていくため、入園当初は一人ひとりに合わせた丁寧な保育の提供を基本としています。どろんこ会グループの方針として、保育室内の環境を年4回は発達を考慮して見直しをすることとしており、子どもの成長や興味に合わせて随時環境を変更しています。保育室内の環境を整える際には、子どもたちが安全で遊びやすい室内環境や、興味や関心を考慮したおもちゃや棚のレイアウトの方法などについて、職員間で意見を出し合いながら環境を整えていきます。</p> <p>コーナーやゾーンを設定して、子どもが好きな場所で遊ぶことができる環境にしています</p> <p>保育室内は遊び、食事、睡眠の場所を別々に設定をして、活動が途切れることなく次の活動に移れる「流れる保育」の環境を整えています。ままごと、ブロック、絵本などはコーナーやゾーンを設定して、子どもが好きな遊びを自分で選び、好きな場所で集中して遊べる環境にしています。今年度は1歳児、2歳児クラスのための、クラス活動にするか異年齢で行うか、その日のねらいに合わせて臨機応変に編成をしています。1歳児クラスの月齢が高い子どもは、散歩などは2歳児クラスに合流をすることで、十分に体を動かすことができるよう配慮しています。</p> | | | |

| | | | |
|---|---|--|------------|
| 2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている | | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | | ○非該当 |
| 評価項目2の講評 | | | |
| <p>登園時は口頭でも保護者に子どもの様子を確認し、変化を見逃さないよう努めています</p> <p>登園時には検温と子どもの様子を観察し、保護者にも口頭で家での様子と、いつもと変わりがないかどうか確認しています。保護者から伝達事項がある場合は「シッターノート兼お迎え伝達ノート」に記入し、担当職員に申し送りを行うと共に、朝礼でも全クラスに必要な事項を共有して統一の対応が取れる体制を整えています。体調が優れない様子の子どものについては、普段より検温や体調確認の回数を増やしたり、保護者の意向を確認して戸外活動を室内活動に変更する、牛乳の提供をお茶に変更するなど、体調に合わせて個々に対応を行っています。</p> <p>生活習慣の習得では子どもの成長を把握して、段階を踏んで次の過程に移行しています</p> <p>子ども一人ひとりの発達状況を把握した上で、トイレトレーニングや衣服の着脱などの生活習慣を始めしていきます。トイレトレーニングも子ども一人ひとりの排泄間隔、便意のサインを見逃さずトイレに誘導して、トイレに座ってみようという気持ちを尊重しながら、成功体験を積み重ねられるよう支援しています。園の様子を連絡帳に記載することで、家庭と協力して無理なく進める体制を取っています。着脱や食事の介助についても、子どものやってみようという気持ちを大切に、適切に支援することで、自分でできたという達成感を大切にしています。</p> <p>降園時には子どもの様子を、保護者により分かりやすく伝える工夫を重ねています</p> <p>降園時には保育中の子どもの様子を、保護者に3分を目安にエピソード記録を添えて伝える、「3分間対応」を取り入れています。降園時の対応については、急いでいる保護者もいるなど様々な事情がありますが、どろんこ会グループの基本姿勢として職員から保護者に積極的に関わることで、信頼関係を構築していけるよう取り組んでいます。2歳児クラスまでは連絡帳アプリでも保育中の様子を伝えていることから、今後の課題として連絡帳に記載されていること以外のエピソードを伝えていくことで、保護者の信頼を得ることができるよう目指しています。</p> | | | |
| 3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している | | | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | | ○非該当 |
| 評価項目3の講評 | | | |
| <p>リズム、製作などの日課では、子どもたちが様々な表現活動を楽しんでいます</p> <p>リズム、製作などについて、年間指導計画にて年齢や発達を考慮して立案をすることで、子どもたちは様々な表現活動を楽しんでいます。週日案に、わらべ歌、リズム、製作、絵本についての推薦内容を併記することで、季節や行事に合わせた内容をタイムリーに提供する体制を整えています。リズムは朝の会でも取り組むことで、様々な場面で音に合わせて体を動かす楽しさの体験となっています。製作は夏場にテラスで、ボディペインティングや色水遊びを実施し、2歳児クラスではハサミやのりの使用を少しずつ始めるなど、年齢に合わせて取り組んでいます。</p> <p>少しずつルールのある遊びや集団活動を取り入れながら、楽しく遊べる工夫をしています</p> <p>集団活動については朝の会の集まりや散歩などから少しずつ始めて、周囲の環境などについても少しずつ関心が広がるようにしています。ルールや決まりについても同様に、簡単なルールから始めていくことで理解しやすくし、自分の事だけではなく友達へも思いやりの気持ちも育つよう支援しています。集団活動では主体的な参加を基本としていますが、気持ちが乗らない時には無理に参加を強いるのではなく、見学も可として気持ちが向くような声かけや、時間をおいて誘うなどの配慮をして、子どもが主体的に参加しやすい環境作りを行っています。</p> <p>午前中は散歩、午後は園庭遊びなどで、体を十分に動かして健康な体作りを支援しています</p> <p>午前中は天気の良い日は、9時には散歩に出発できるように支度を整えて、昼食までに十分に体を動かす時間を確保しています。散歩では職員が、木、花、虫などから季節の移ろいを伝え、目に入るものを代弁したり、落ち葉などの自然物で季節の製作を楽しんだりしています。夏はテラスで水遊びを楽しみ、テラス給食では、四季折々の移ろいを風や気温、空の動きからも体感しています。午睡後も園庭で遊ぶ時間を設けるなど、一日を通して十分に体を動かすことで、子どもたちの心身ともに健康で健やかな成長に繋がるよう支援しています。</p> | | | |

| 4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
|---|---|---------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>行事は毎年実施内容を話し合い、保護者に日常の保育を見てもらえる機会にしています</p> <p>行事については毎年の子どもの成長した姿を反映していけるよう、毎回白紙の状態から職員間で意見を出し合い、実施内容を決めていきます。今年度の行事は、昨年度末に策定会議にて各職員がプレゼンテーションした内容を基に、子どもが主体的に取り組めるよう考慮して選定しました。子どもの姿や興味、関心を踏まえて「子どもたちにとって何が必要か」を考察して、成長に不可欠な体験を行事に取り入れています。日常の保育の中で取り組んでいることを行事にも取り込むことで、無理なく楽しく行事に参加することができるよう配慮しています。</p> <p>行事当日に子どもの普段の姿を見てもらえるよう、作り込み過ぎないようにしています</p> <p>現在は1歳児、2歳児クラスのための園のため、行事の本番では保護者の側から離れないなど、普段の様子とは違うことから、あまり作り込み過ぎないようにしています。また、練習をしすぎてしまうと飽きてしまうこともあることから、子どもの様子を見て、当日も楽しく参加できる環境を大切にしています。どろんこ祭りでは工作、ゲーム、飲食の各コーナーを設け、保護者も子どもと一緒に回り楽しめる機会にしています。運動会ではリズム、ダンス、サーキット遊びなど日々の保育内容を反映させることで、保育への理解が深まる機会にしています。</p> <p>行事の目的を保護者に説明して、頑張りや、成長している姿への理解に繋げています</p> <p>行事については年度初めに年間行事予定を保護者に配布して、行事に参加しやすくしています。保護者には子どもたちの行事への取り組み姿勢と併せて、行事における目的、意義を懇談会や園だよりなどで丁寧に説明をして、成長していく姿を共有しています。取り組みの様子については、連絡用アプリのタイムライン、ドキュメンテーションなどで毎日配信して伝えており、当日の姿のみではなく過程も理解できるように配慮しています。どろんこ祭りでは保護者に手伝いをお願いすることで、更に行事が盛り上がるような関係性作りを目指しています。</p> | | |
| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>長時間保育の子どもも、無理なく自分のペースで過ごせる環境設定にしています</p> <p>朝、夕の延長保育の時間も日中と同じように、全クラスと一緒に過ごす異年齢保育を行っています。日中は2階の保育室で過ごしていますが、朝、夕は1階の3歳児以上のクラスの保育室を、現在は延長保育の部屋として利用しています。部屋の移動をする際には、安全にも配慮し朝は職員の人数が揃ってから、夕方は子どもの人数が少なくなってから行っています。疲れた様子が見られる子どもには、絵本コーナーの前にマットを敷いて横になれるスペースを設けて横になったり、腹ばいで遊べるようにするなど楽に過ごすことができるよう工夫しています。</p> <p>子どもが好きな事をして過ごす時間にすることで、楽しくくつろげるよう工夫しています</p> <p>延長保育では保育室を移動することから、普段とは違うおもちゃで遊べるといった、子どもが楽しく過ごせる時間となるような工夫をしています。午睡後も園庭で遊ぶ時間を設けていますが、日中の様子を遅番の職員が引継いで、疲れている様子の子どもの場合には、静かな遊びを提供するなどの配慮をしています。今年度は閉園時間の20時まで利用する子どもは数名のみのため、少しずつ人数が減っていくことで子どもが寂しさを感じることがないように、保育者の関わりを密にして、一緒に好きなことをして過ごし迎えを待つことができる時間になっています。</p> | | |

| 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(〇〇〇〇〇) |
|---|--|-----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている | ○非該当 |
| 評価項目6の講評 | | |
| <p>食事を美味しく食べる事ができるよう、体を動かしてお腹が空く感覚を大切にしています</p> <p>食事の時間が待ち遠しくなるように、外遊びができる日は通常9時には散歩などの戸外活動を始めて、昼食の時間までにしっかりと体を動かすことで、お腹が空く生活リズムを大切にしています。お腹が空くから食事がおいしく感じられ、食べる意欲も自然と湧いてきています。午前中の日課においては散歩などの戸外活動を積極的に取り入れています。訪問調査時はテラスで給食を楽しんでおり、2歳児クラスは食事の盛り付けを自分で行って、3歳児クラスからのバイキング形式の練習を始めることで、自分で食べられる量を知り、完食を目指しています。</p> <p>毎月の給食会議にて、子どもの喫食状況を全職員で共有して改善に繋げています</p> <p>毎月の給食会議では、各クラスの喫食状況などを報告し食材の固さや、大きさ、味付けなどを職員間で検討して、改善の必要がある際には次の提供時に見直しをしています。給食で使用する食材は、素材そのものの味を生かせるように出汁で薄味に仕上げる、旬の食材を使用する、お米はどろんこ会グループが新潟で作っている安心、安全なものを提供しています。幼少期における子どもの味覚を、過度な味付けや、科学調味料などで阻害しないよう配慮しています。行事ではいわれや、習わしを伝えて、四季折々の彩どりを感じられるようにしています。</p> <p>園庭での野菜栽培やクッキングなど、多様な食育活動を提供して興味を広げています</p> <p>厨房スタッフとクラス担任が話し合いながら、年間で食育計画を立案しています。園庭では玉ねぎ、ニンジン、カブ、ほうれん草、カボチャなどを栽培して、大人と子どもと一緒に水やりやコンポストでの肥料作り、草むしりなどをしながら生長を観察し、収穫、調理まで体験しています。給食で使用したカボチャから種を取って蒔き、出来た実はハロウィンの飾りに使用しました。クッキングではトマトケチャップ、ピザ、野菜ジャム作りなどを行って、野菜が苦手な子どもも形状を変えることで食べられるよう工夫をして、食への興味が広がる機会にしています。</p> | | |
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | ○非該当 |
| 評価項目7の講評 | | |
| <p>手洗い指導などを実施して、子どもが健康について意識できるよう働きかけています</p> <p>手洗い指導やプール前の水遊び指導では、目的やルールについて話をすることで、子ども自身が理解をした上で取り組めるよう働きかけています。職員も一緒に毎日正しい手順で手を洗うことで、子どもたちの見本になるようにして、習慣化に繋がるよう働きかけています。交通ルールや遊具の使い方については、散歩などの戸外活動の際に繰り返し伝えていくことで、安全についての意識が根付いていけるよう支援しています。毎日の日課であるリズム遊びや、朝夕の散歩や園庭遊びを通して、健康な体作りに繋げて健やかな成長を促しています。</p> <p>医療的なケアが必要な子どもには、嘱託医などと連携して対応する体制を整えています</p> <p>医療的なケアが必要な子どもは現在是在園していませんが、入園した際には嘱託医、保護者と連携をして、緊急時における手順などを整える体制を取っています。投薬が必要な際には「与薬依頼票」に必要事項を記して、指定の時間に職員がダブルチェックを行って投薬しています。嘱託医には年2回の健診の際に、発達が気になる子どもについて相談したり、けがや体調不良の子どもへの対応や、処置方法について指示を受けて適切に対応しています。受診が必要な際には、マニュアルに沿って受診対応を行い、適切に医療機関に雇われる体制を整えています。</p> <p>園の健康管理についての取り組みは、入園時に保護者に説明をしています</p> <p>乳幼児突然死症候群の予防については、呼吸や体位確認の間隔、寝具・衣服など周辺環境の整備、体に触れて熱がこもり過ぎていないか確認を行っていることを、入園時に説明して保護者の安心に繋げています。季節ごとに流行が予測される感染症については、毎月の保健だよりで注意喚起をし、園内で感染症が発生した場合には、アプリ配信にて保護者に伝えていきます。保健だよりには更に免疫力を高める日々の習慣、裸足保育、薄着保育など、園の保育とも関係のある内容を載せて、保護者と共通理解を図り、子どもの健康管理を共に行えるようにしています。</p> | | |

| 8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(00000) |
|---|---|-----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | ○非該当 |
| 評価項目8の講評 | | |
| <p>急な残業などによる延長保育も柔軟に受け入れて、保護者の就労を支援しています</p> <p>急な残業などで延長保育が必要になった際にも、受け入れ体制を整えて対応しています。特に一人親家庭の保護者には、困りごとがないか職員から声を掛けていくことで、相談しやすい関係性を構築しています。朝の忙しい時間は保護者が靴を脱がなくても子どもの受け入れを行えるよう、1階のテラスにて登園対応を行っています。また、保護者の負担軽減に努めており、荷物はなるべく少なくすると共に、オムツのサブスクリプション制度も取り入れています。個人面談は随時対応をして、気になることがあれば相談しやすい雰囲気作りを行っています。</p> <p>保護者懇談会では保護者同士の交流から、関係性が深まるよう働きかけています</p> <p>年2回実施している保護者懇談会では、春はクラスの目指す姿、年齢に合わせて見られる発達の過程、伸ばしていきたいことなどを説明して、保護者と子どもの育ちについて共通理解を図っています。秋の懇談会では、成長した姿の報告や、進級に向けた話をして、家庭と協力して子どもの育ちを促進できるよう働きかけています。懇談会では園からの説明だけでなく、保護者の考えや悩みなども共有できるようにするため、保護者から話したいことを事前に聞き取る形式を予定するなど、保護者同士の関係性が更に広がるような働きかけをしています。</p> <p>保育参加や登降園時の報告などで、子どもの園での過ごし方を共有しています</p> <p>保育参加は期間を設けず、行事の日でもいつでも毎日1名ずつ受け入れる体制を整えて、子どもの園での様子について理解が進む機会にしています。保育参加では友達との関係性、クラスの様子、保育者との関わりから、成長している姿への理解に繋げています。今年度のどろんこ祭りでは、保護者の負担にならない範囲で手伝いを依頼して、行事と一緒に盛り上げる機会を設けました。職員は登降園時にコミュニケーションを図ると共に、アプリの連絡帳やタイムラインで保育中の様子を発信して、子どもの日々の様子を保護者と共有しています。</p> | | |
| 9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ○非該当 |
| 評価項目9の講評 | | |
| <p>商店街ツアー、青空保育などで地域の多様な世帯と交流する機会を設けています</p> <p>地域資源の活用としては、近隣に公園の多い立地を生かして、年齢に合った遊具や公園までの距離を選んで散歩をしています。隣には消防団の施設があり、消防車もあることから、子どもたちは興味を持って観察しています。散歩で近隣の商店街を通る際には挨拶をし、商店街ツアーでは近隣のスーパーマーケットや個人商店を訪問して、地域の暮らしや、どんな仕事があるのかなどを知るきっかけになっています。青空保育は近隣の公園で実施をしており、在園児と公園に遊びに来ている子どもと一緒に遊んだり、紙芝居、手遊びなどを通して交流しています。</p> <p>地域支援や一時保育事業などで、地域の人に園を開放して子どもと交流しています</p> <p>子育て支援事業では、園開放、子育て相談、着なくなった服のフリーマーケット「勝手籠」の設置、地域向けの広報誌「ちきんえつぐ」を発行しています。地域支援では、園開放での保育室開放、ボディペインティングなどを実施する芸術学校、自然食堂での夏野菜の浅づけ、トマトケチャップ、アジサイゼリー、梅ジュースなどのクッキングを行っています。一時保育事業は多くの登録者があり、毎日6名の定員が埋まる程度地域から必要とされています。一時保育事業の子どもたちは、在園児と一緒に保育室で過ごしており、共に育ちあえる環境を整えています。</p> | | |

調査対象

保育園を利用している33世帯を対象に調査を実施しました。在園児は34名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数

34

利用者家族総数(世帯)

33

共通評価項目による調査対象者数

33

共通評価項目による調査の有効回答者数

30

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

90.9

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が16人(53.3%)、「満足」が13人(43.3%)で「満足」以上の回答は合計29人(96.7%)でした。

自由意見には、「先生方がいつも丁寧かつ親身になって柔軟に対応をしてくださり、大変感謝しています。家庭ではなかなかできないような経験を提供してくださっていて、子どもの成長を感じるとともに、先生や友達とのびのびと楽しく過ごしている様子がうかがえて嬉しいです」「裸足保育やどろんこ遊びが良いと思っています」「先生方の仲の良さが伝わってきて、すてきなと思います」「子どもたちを優しく、楽しく、温かく見守り、育ててくださる、とても温かい保育園だと思います。来年から園児の人数が増えますが、この温かい雰囲気が変わらないといいなと思います」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「職員の接遇・態度は適切か」で100%、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか」他1項目で96.7%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 30 | 0 | 0 | 0 |
| 「はい」が100%でした。 自由意見には、「先生方が日々工夫してくださり、様々な体験をさせていただいています」「身体を動かす遊びと手先を使う遊びなど、バランスが取れていて良いと思います」「毎日戸外活動があり、夏は毎日プールや水遊びがあり、とても有意義な時間になっているようです」「家でやらないことができて良いと思います」「園に通い始めてから、子どもの成長が著しいです」などの声がありました。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 29 | 1 | 0 | 0 |
| 「はい」が96.7%、「どちらともいえない」が3.3%でした。 自由意見には、「家でも楽しそうに、園で何を話しているのか話しています」「子どもは保育園で遊ぶことが大好きなようです」「植物を育てたり、ケチャップを作ったり、様々な体験をさせてもらっています」「水遊びやどろんこ遊びなど、普段できない遊びをさせていただけるのが良いと思います」「夏は毎日のように水遊びをさせてくれました」「子どもの様子を見ると毎日楽しそうなので、ありがたいです」などの声がありました。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 26 | 4 | 0 | 0 |
| 「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%でした。 自由意見には、「家でも保育園のごはんはおいしいと子どもが言っています。おかわりもたくさんしているようで、ありがとうございます」「彩りも栄養も考えられていて、ありがたいです」「給食がおいしそうです」「家庭料理のような温かい愛情を感じます」「おにぎりなど手作りのおやつが多いところが良いと思っています」などの声がありました。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 25 | 5 | 0 | 0 |
| <p>「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%でした。 自由意見には、「よく散歩に行くので、地域と関わる良い機会だと思います」「ピザ作りのため近隣の畑に買い物に出かけたりと、貴重な体験をたくさんさせていただいています」「虫と触れ合う機会がたくさんあるようで、親は虫が苦手なのでありがたいです」「園庭やテラスで目いっぱい遊ばせてくださり、子どもは園庭が大好きです」「縁側での昼食も含め、外での活動を大切にしてくれています」などの声がありました。</p> | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 25 | 1 | 0 | 4 |
| <p>「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が3.3%、「無回答・非該当」が13.3%でした。 自由意見には、「どの先生もいつも柔軟に笑顔で対応をしてくださり、感謝しています」「急な延長でも嫌な顔をされたことは、電話を含め一度もなく、温かく迎えてくださいます」「大変ありがたいです」などの声がありました。</p> | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 16 | 11 | 3 | 0 |
| <p>「はい」が53.3%、「どちらともいえない」が36.7%、「いいえ」が10.0%でした。 自由意見には、「今のところ平和に過ごしているので、分からないです」などの声がありました。 その一方で、「安全対策や緊急時の対応について、園から保護者への説明が十分でないので不安があります」という意見もありました。</p> | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 26 | 4 | 0 | 0 |
| <p>「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%でした。 自由意見には、「しっかりと配慮されていると思います」「平日夕方の保護者会など、助かります」などの声がありました。</p> | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 25 | 5 | 0 | 0 |
| <p>「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%でした。 自由意見には、「連絡アプリで毎日の様子が写真付きで見られるほか、連絡帳やお迎え時も1日の様子をたくさん教えてくださるので、安心して仕事に行けています」「降園時に、その日の様子を話してくれています」などの声がありました。</p> | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 29 | 1 | 0 | 0 |
| <p>「はい」が96.7%、「どちらともいえない」が3.3%でした。 自由意見には、「きれいだと思います」「建物がきれいです」などの声がありました。</p> | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 30 | 0 | 0 | 0 |
| <p>「はい」が100%でした。 自由意見には、「先生方皆さん、とても丁寧です」「職員の対応が良いです。子どものことを考えつつ、親の気持ちにも寄り添ってくれます」「どの先生方も構えることなく、話しかけやすいです」「先生方がとてもはつらつとしていて、子どもにも寄り添っていただけます」「経営層も保育に参加されていて、笑顔からも子どもたちへの愛情を感じます。親に対しても、寄り添ってくださります。先生方も優しく明るく元気な先生が多く、いつもすてきな笑顔で迎えてくれます」などの声がありました。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|----|----|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 24 | 5 | 1 | 0 |
| 「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が3.3%でした。 自由意見には、「午後の発熱時、少し早めに状況の連絡をいただけると病院の予約などが取りやすいです」などの声がありました。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 17 | 10 | 0 | 3 |
| 「はい」が56.7%、「どちらともいえない」が33.3%、「無回答・非該当」が10.0%でした。 自由意見には、「トラブルが今までなかったので、分かりません」などの声がありました。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 28 | 2 | 0 | 0 |
| 「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%でした。 自由意見には、「子どもたちがその時思っていることを先生方が尊重してくれていることがいつも伝わってきます」「自主性を重んじており、子どもがのびのびと育っています」「子どもの様子をよく見てくれています」「子どもの遊びを尊重してくれています」などの声がありました。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 24 | 4 | 0 | 2 |
| 「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が13.3%、「無回答・非該当」が6.7%でした。 自由意見には、「信頼しています」などの声がありました。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 24 | 6 | 0 | 0 |
| 「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が20.0%でした。 自由意見には、「アプリでその日の写真が見られたり、文面で出来事を書いてくださったりしていて嬉しいです。毎日見るのが楽しみです」などの声がありました。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 19 | 8 | 1 | 2 |
| 「はい」が63.3%、「どちらともいえない」が26.7%、「いいえ」が3.3%、「無回答・非該当」が6.7%でした。 自由意見には、「参考にしますという回答の後、対応や改善策がないことがありました」などの声がありました。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか | 14 | 13 | 2 | 1 |
| 「はい」が46.7%、「どちらともいえない」が43.3%、「いいえ」が6.7%、「無回答・非該当」が3.3%でした。 この質問に関連するコメントはありませんでした。 | | | | |

株式会社学研 Advance
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証